

# 国際共修

新たな学びの環境を創り  
教育国際化を捉え直す

オンライン開催

2021年2月19日（金）

10:00 - 12:00

参加費：無料

定員：250名

主催：東北大学グローバルラーニングセンター

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/>

東北大学国際共修ウェブサイト

<http://intercul.ihe.tohoku.ac.jp/>

広報協力：NPO法人JAFSA（国際教育交流協議会）

本イベントに関するお問合せ：[icltohoku@grp.tohoku.ac.jp](mailto:icltohoku@grp.tohoku.ac.jp)

本イベントは、東北大学グローバルウェビナーシリーズのひとつとして開催されるものです。  
シリーズで開催する他のイベントについては、「東北大学グローバルウェビナー」  
専用ページをご覧ください。

パンデミックにより国内外で人の移動制限が長期化するなか、学習者の文化的・言語的多様性を学習リソースとする国際共修の意義はますます高まっています。

本シンポジウムでは、レジリエントな国際教育を作るために国際共修という授業形態をいち早く計画実施してきた国内外の大学**教員**と、「意味ある交流」により国際共修授業において国際的な仲間とともに自らの学びを深めてきた**学生**が、それぞれの立場から国際共修を通じた自身の教育学習活動を振り返ります。

多様なスピーカーが国際共修の魅力と今後の課題を提言する貴重な機会です。

## 当日の構成

背景説明：東北大学Be Global Projectとは

山口 昌弘 東北大学

副学長（教育改革・国際戦略）教授 理学研究科

講演1：パンデミック下の教育国際化を考える

太田 浩 一橋大学

教授, HGP (Hitotsubashi University Global Education Program)

ディレクター, 全学共通教育センター

講演2：オンラインを活用した国際共修の意義

ジェレミー ブレーデン Monash University (Australia)

Senior Lecturer, School of Languages, Literatures, Cultures and Linguistics

国際共修事例紹介1：東北大学×University of California, Riverside

佐藤 玲子 University of California, Riverside

Senior Lecturer, Department of Comparative Literature and Languages, 東北大学高度教養教育・学生支援機構特任准教授兼務

国際共修事例紹介2：東北大学×Simon Fraser University

竹井 尚子 Simon Fraser University (Canada)

Senior Lecturer, Department of World Languages and Literature

学生の声：国際共修は学生の学びに何をもたらすか

湊 洵菜

峯村 遥香

東北大学文学部3年

東北大学経済学部3年

司会・コーディネーター

末松 和子 東北大学総長特別補佐 教授 高度教養教育・学生支援機構

米澤 由香子 准教授 東北大学高度教養教育・学生支援機構

\*本シンポジウムは日本語を使用します。

\*予定は変更になることがあります。

## 参加申し込みについて

以下URLまたはQRコードより申込フォームを2月5日（金）までにお送り下さい。

申込フォーム：<https://forms.gle/B5L34A5zdsSe5kaUA>

お申し込み順に定員に達するまでご参加を受け付けます。

ご参加を受け付けた方には参加の詳細をメールにてお知らせします。

東北大学グローバルラーニングセンター Be Global Project国際共修

<http://intercul.ihe.tohoku.ac.jp/>

